



長野ボランティア

12月上旬に、長野県にボランティアに行ってきました。行く前は、台風で千曲川が氾濫したのが10月。あれから2か月もたっているのに、私達がボランティアですることなんてあるの?って思っていました。答えから言います。メチャクチャあります!!今回は3日間の予定で行きました。1日目はお昼に長野市に着いたので、昼からお手伝いをする事にしました。その内容は「リンゴ畑の泥を掻き出してほしい」でした。意気揚々と被災地に向かうとその光景に愕然としました。辺り一面りんご畑だったので、そのほとんどの実が落ちていて、赤いじゅうたんのようになっていました。また木の根元には20cm位の土砂が溜まっていて、それを掻き出さないと、根が腐ってしまうそうです。早速30人ほどのボランティアで作業を開始しました。30分後…もう手はパンパン。腰はガクガクです。

この土砂は粘土質でメチャクチャ重たいんです。これをスコップで掘っては一輪車に乗せ、道沿いに捨てに行きます。適度に休憩をしていたのですが、すごく苦しかったです。その作業を3時間ほどして、その日の作業は終わったのですが、結局30人ほどで木を5、6本分しか土をどかせられません。この辺り一面のリンゴ畑全部の土をどかすのに、何日かかるんだらう…と気が遠くなってしまいました。しかも雪が降ってしまうと、一切の作業ができなくなってしまいます。そのためあと1か月程で全部の作業をしなければなりません。無理です…。今のままでは絶対無理です…。2日目、3日目はブルーシートの掃除をしました。中村さんっていう農家のおじいちゃんの家で作業をしました。そのおじいちゃんがとってもいい人でした。自転車でフラッと出かけたな～って思っていると、「休



憩して～」と言ってお茶を出してくれました。2日目の時は気づきませんでしたが、実は私たちのお茶を買いに行ってくれていたんです。しかも3日目の時に話してくれました。家の家具は全部流されてしまって、食器も箸すらない…って事を。そんな状態なのに、私たちの為にわざわざ飲み物を買って行ってたんです。しかも帰り際に「ありがとね」と言ってリンゴを1箱くれました。木から落ちなかったリンゴは本当に僅か、貴重なはずなのに箱にいっぱい詰めてくれました。その気持ちが嬉しくて嬉しくて、涙が出てしまいました。岡崎に帰って、中村さんの家の地図を持っていたので、お手紙を書きました。来年はりんご買いに行くので、その時はよろしくね!って。中村のおじいちゃん、本当にありがとね!!

みんなのひとり言

12月から道路交通法が変わり、携帯を手に持つ事すら違反に変わりました。それを受けて社長がみんなにハンズフリーのイヤホンを配ってくれました。「これアマゾンでメチャクチャ評価が高かったから、良いと思う!」なんて自慢げに話してくれたのですが、宮崎さんが「1000を超えた評価は偽物ですよ!!」って教えてくれました。どうやらウソの評価をたくさん入れて、商品を買わせる方法らしいです。それを聞いた社長は愕然としていました(笑)社長、これからは気を付けてくださいね!

今月の格言!

**行動と持続力が
全てを制する**

(ベンジャミン・フランクリン)

わかっているんです。

行動が大切だって…

わかっているんです。

続ける事が大切だって…

なのになんでできないんだらう



喜んでいただけました!のコーナー!

先日、JR岡崎駅近くの友人と出かける際におばあちゃんがフラフラしていました。「どうしたの?」と声をかけると、「たつみ幼稚園に行きたい」と答えてくれました。時間は夕方18時。しかもおばあちゃんの両手にはたくさんの荷物。そんな時間からたつみ幼稚園に行くってどうするの?って思って聞いてみました。するとそこから美合駅行のバスが出ているらしくそれに乗りたかったみたい

です。話を聞くとバスと徒歩で「楽の湯」に来たは良いけど、道に迷ってしまったって、岡崎駅まで来てしまったそうです。それにしても、JR岡崎駅からたつみ幼稚園までも相当ありますが、そこでバスを待って美合まで行くのは相当大変です。しかも時間も遅く、バスがすぐに来ると思えませんが…。そこで合流した友人に事情を説明して、おばあちゃんを美合駅まで送っていく事にしました。道中、

色々な話をしてくれました。「最近、良い事がまったくない…」なんてボヤいていたので、「今日、こうやって駅まで送ってもらえてラッキーだったじゃん!!」なんて励ましながら美合駅まで送り届けました。最後、笑顔で手を振って歩いていきました。おばあちゃん、これからは気を付けてお風呂に行ってくださいね!